

塚田南小学校 児童見守り手順書

2025/04 改訂

- ・見守り当番者は活動時間の10分前に正門前に集合してください。
- ・活動時は保護者名札を必ず児童に見えるよう着用してください。
- ・安全上、幼児と一緒に活動いただくことはお控えください。
- ・運転手や歩行者から目立つよう、配布されている横断旗をもって活動してください。
- ・旗を持参していない場合は事務室前にあるものを利用し、返却してください。
- ・終了時刻になったら各持ち場での見守りを終了し再度正門前に集合してください。
- ・横断歩道や踏切等で自動車、自転車等が来たら【児童を止めて車両を先に通行させてください】
- ・車道との間隔が狭いので雨天時の見守りには傘ではなくレインコート等の着用を推奨します。
- ・児童が歩道を通行する際に横に広がらないように指導してください。

登校時の見守り活動

活動時間は午前7時25分～午前8時05分となりますが、8時05分を目安に⑤（新船橋駅寄り踏切）の方が児童の状況を見て終了の判断をして頂き、各当番の方へ声掛けをしながら正門へ戻るようお願い致します。②（ベルク側）の方も同様に8時05分をめやすに判断して下さい。

- ・当番表1番の方がリーダーとなり、出欠を確認してください。（1番不在の場合は最も早い番号の方）
- ・万が一、5名いない場合はリーダーが担当場所替えを指示してください。
- ・配置優先順位は、③ → ⑤ → ④ → ② → ① → ⑥ です。

下校時の見守り活動

5時間下校児童の見守り：14：35～14：55

6時間下校児童の見守り：15：25～15：45

※下校時刻が通常と異なる場合、学校だよりに記載された下校時刻の10分前に集合してください。

※14：55～15：25までの間は名札を下げた上で、展示作品の鑑賞等学校の見学も可能です。

- ・当番表2番の方がリーダーとなり、出欠を確認してください。（不在の場合は3番以降最も早い番号の方）
- ・万が一、5名いない場合はリーダーが担当場所替えを指示してください。
- ・配置優先順位は、③ → ⑤ → ⑥ → ② → ④ → ① です。

登下校それぞれ見守り終了後に、
その時のリーダーは右のURLまたは
QRコードより報告を行ってください。



<https://forms.gle/QkBnFNExwacjbcuu8>



当番表番号の場所で見守りを行ってください。

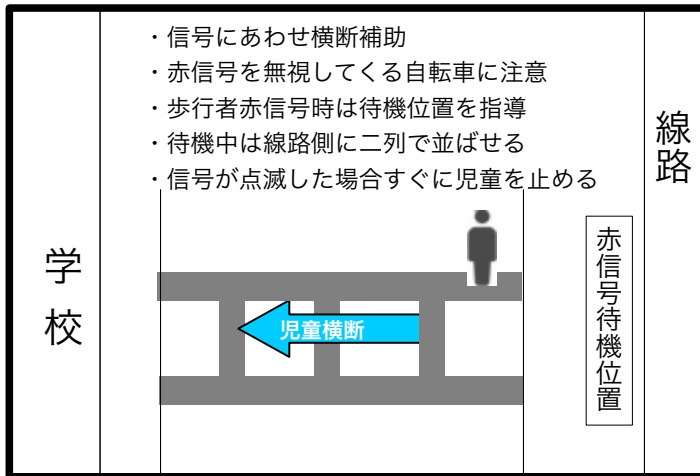
④・⑥の方は下校時は黒丸数字に移動となります。

- ① 学校前横断歩道（線路側）
- ② ベルク側横断歩道
- ③ 学校前踏切
- ④ 湯楽の里踏切（マンション側グリーンロード）
→下校時は④湯楽の里踏切（新船橋駅寄り）
- ⑤ 新船橋側踏切
- ⑥ 学校前横断歩道（正門側）
→下校時は⑥湯楽の里踏切（塚田駅寄り）

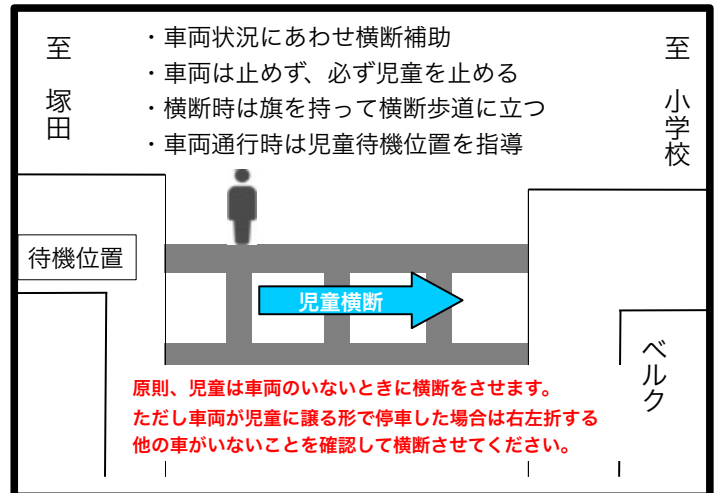
※教職員・スクールガード等が別の位置での見守りを指示した場合はそれに従ってください。

配置場所別図（登校見守り）

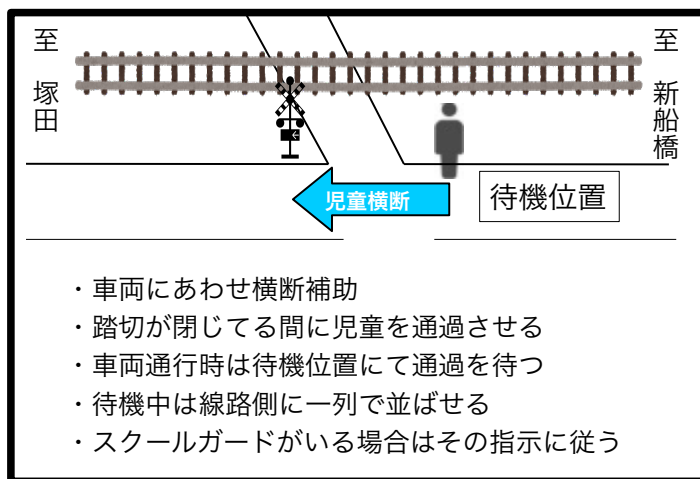
① 学校前横断歩道（線路側）



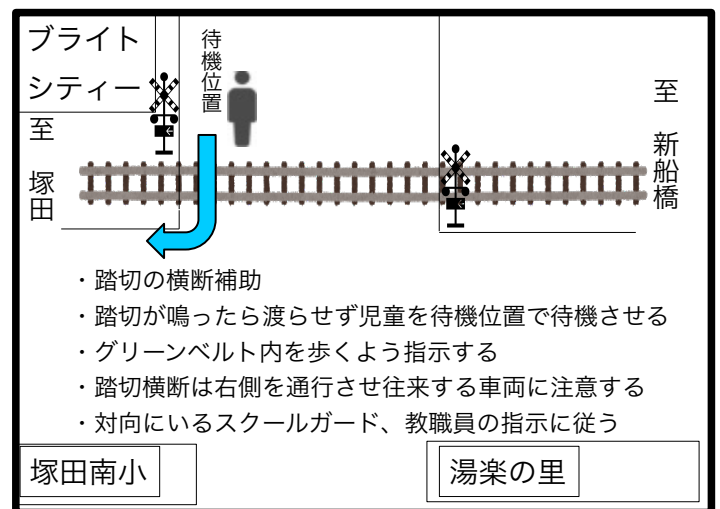
② ベルク側横断歩道



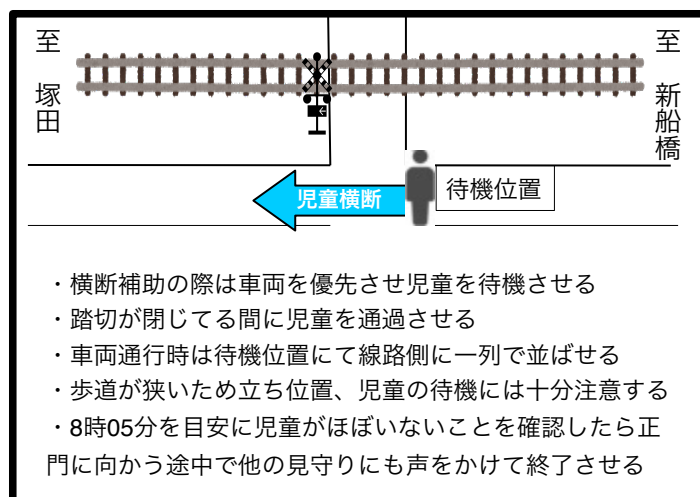
③ 学校前踏切



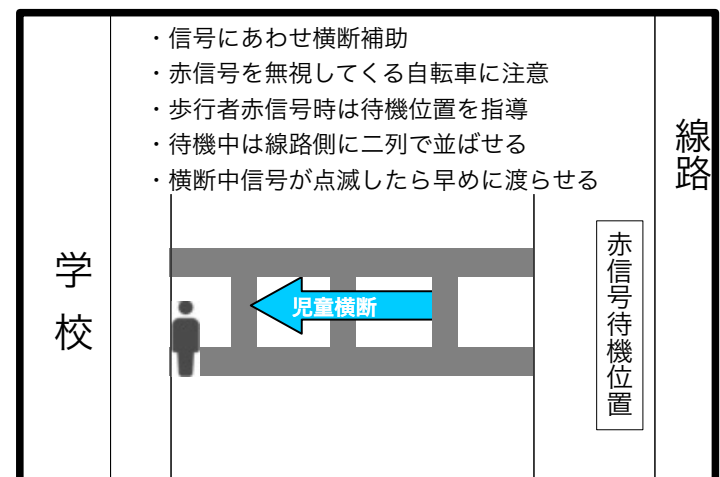
④ 湯楽の里踏切（マンション側グリーンロード）



⑤ 新船橋側踏切



⑥ 学校前横断歩道（正門側）



注意事項

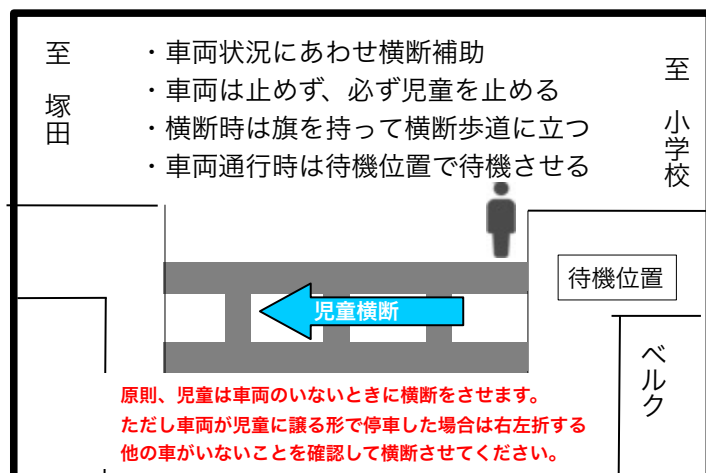
- ・踏切を車両が通行する場合、必ず線路側に1列で待機させ、片側を歩行者のスペースとしてあげる。
- ・踏切を見守る場合、複数方向から車両の出入りがあるので、周辺の車両状況を常に見るようにする。
- ・雨天時には児童の傘が歩行者にぶつかるなどの事例があるので、横に広がらないよう指導する。
- ・自転車等合図のない車両、また警報の鳴った踏切を停止せずに通行する車両には特に注意する。
- ・歩道が狭いため見守り者自身の安全にも十分注意する。
- ・事故等があった場合は速やかに学校に連絡を行う。

配置場所別図（下校見守り）

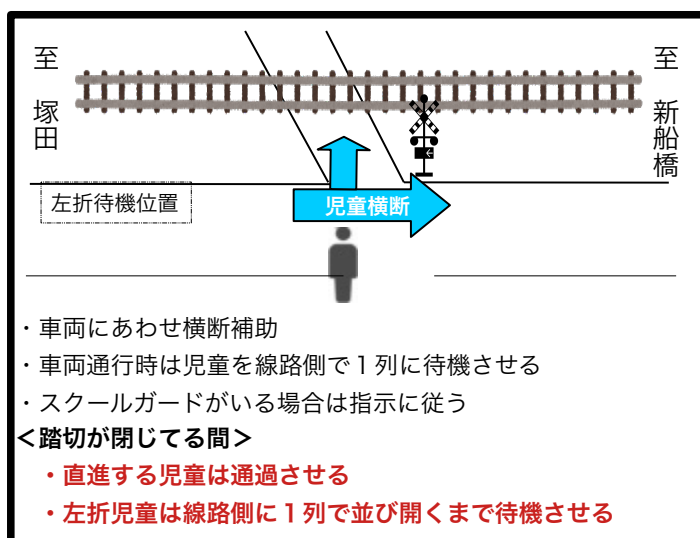
① 学校前横断歩道



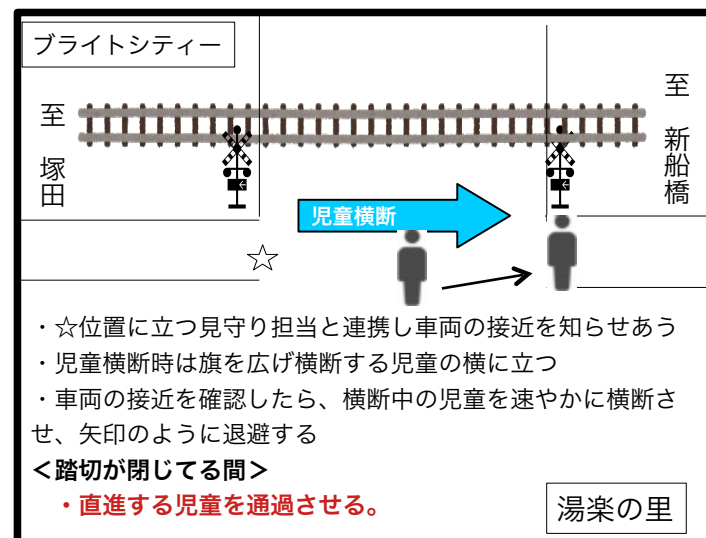
② ベルク側横断歩道



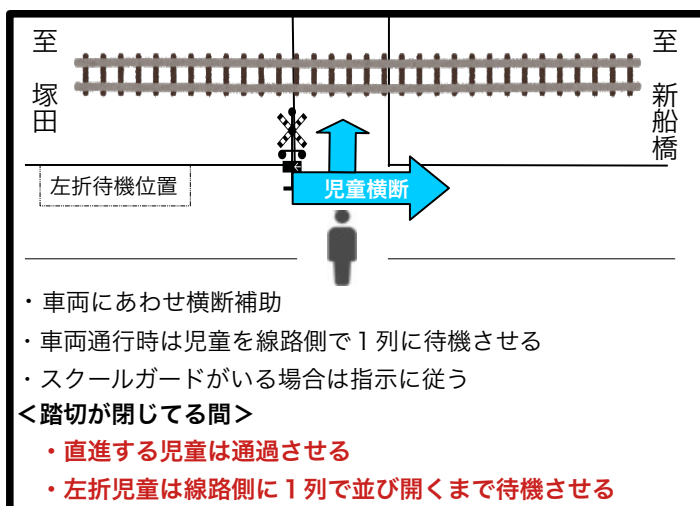
③ 学校側踏切



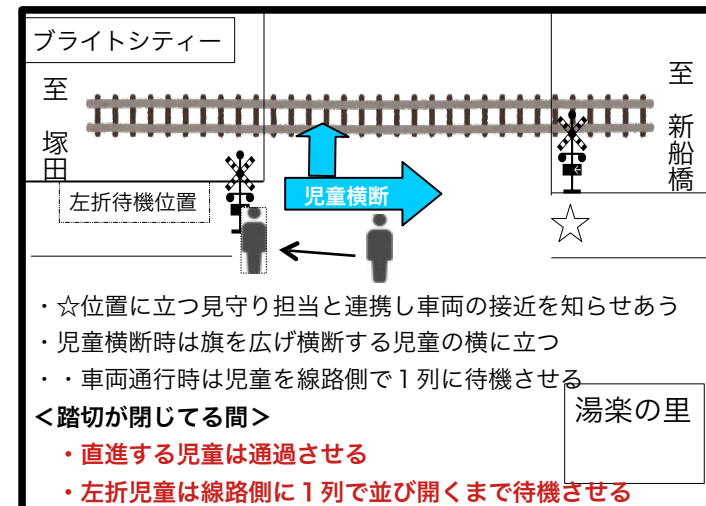
④ 湯楽の里踏切（新船橋駅寄り）



⑤ 新船橋側踏切



⑥ 湯楽の里踏切（塚田駅寄り）



注意事項

- ・踏切等車両通行時は必ず線路側に1列で待機させ、片側を歩行者のスペースとしてあける。
- ・踏切を見守る場合、複数方向から車両の出入りがあるので、周辺の車両状況を常に見るようになる。
- ・雨天時には児童の傘が歩行者にぶつかるなどの事例があるので、横に広がらないよう指導する。
- ・踏切が閉じている間、左折する児童を踏切側で1列で待機させ、直進する児童はその横を通り通行させる。
- ・自転車等合図のない車両、また警報の鳴った踏切を停止せずに通行する車両には特に注意する。
- ・歩道が狭いため見守り者自身の安全にも十分注意する。
- ・事故等があった場合は速やかに学校に連絡を行う。